



「ちがう」っておもしろい!

～自分とあいての「ちょうどいい」をさがそう～

○もし、キミが3つの目の宇宙人に出会ったら?

ヨシタケシンスケさんの絵本に、目が3つある人たちの星に行くお話があります。



そこでは目が2つの人間が「めずらしい存在」になります。場所が変われば「ふつう」も変わるのです。



うしろが
みえなくて
かわいそう

キミたちのまわりにも、いろいろな友だちがいます。運動がとくいな子、しずかにすごすのがすきな子、見た目がちがう子、考え方がちがう子。みんなそれぞれに「自分だけの感じ方」をもっています。

○もし、キミが自分とちがう人に出会ったら?



「どうすればいいのかな?」とまよったら…。

わらう、からかうのは×

自分が「ふつう」だと思っていることも、だれかにとっては「ふつう」ではないかもしれないよ。

「ヘー!」

自分とちがうところを見つけた時のおどろき! それは相手を知るための「たんけん」の始まり。

「そうなんだね!」

自分と同じところを見つけた時の安心。ちがう人とも「同じ」はかならずみつかります。

「ちがう」ことはけって悪いことではありません。むしろ、みんなが顔も、体つきも、考え方も全部同じだったら、世界はつまらないかもしれません。もし、自分とちがうだれかに出会ったら、まずは相手のことを知ろうとしてみてください。そして、おたがいに気持ちよくすごせる「ちょうどいいルール」をいっしょにさがしてみましよう。

【内科けんしんがあります!】



みんなが安心して受けることができるよう、一人で着がえをする「着がえコーナー」を用意しました。「自分のからだは自分のもの」という気持ちを大切に内科けんしんを受けましよう。

- ★ふくそう：お医者さんの前では「Tシャツか、下着のシャツ1枚」になります。
- ★着がえのコツ：Tシャツの上にパーカーやカーディガンなどを着るふくそうが、パツとぬぐことができるのでオススメです。
- ★背骨の検査のために：ブラジャーやカップ付きのキャミソールなどを着ている場合は、背骨のようすをしっかりとみてもらうために、その時だけ上のTシャツなどをぬいで受けます。